

日本スピリチュアルケア学会
人材養成講座認定

1. 基礎データ

組織名（和文）	一般社団法人 高知癌患者支援推進協議会	
組織名（英文）		
代表者氏名	安岡 ゆり子 e-mail: dxxy154@yahoo.co.jp	
事務担当者氏名	川澤 成子 e-mail: kawazawamasako19800412@yahoo.co.jp	
組織所在地	高知市旭町1丁目 39-16 フォートヒル 102 6階 601号 電話：088-821-9306	
設立年	2007年	
沿革	2007年10月	高知県からの委託を受け、がん患者会一喜会ががん相談センターこうち設立
	2010年	人材養成講座 第1回スピリチュアルケア専門職養成コース開講
	2011年4月	一般社団法人 高知がん患者支援推進協議会に委託先を変更 人材養成講座 第2回スピリチュアルケア専門職養成研修開講
	2012年5月	人材養成講座 第3回スピリチュアルケア専門職養成研修開講
	2013年6月	人材養成講座 第4回スピリチュアルケア専門職養成研修開講
組織の目的、ミッション・ステートメント等		
<p>（がん相談センターこうち）がん相談センターこうちは、平成19年高知県がん対策推進条例の制定に基づき、高知県のがん患者・患者家族らの全人的ケアを行う事を目的に、多様ながん治療の情報収集と提供を行い、さまざまな研修・勉強会を通して広く県民の皆様にごがん医療の啓蒙・啓発運動を行い、高知県のがん医療の向上に貢献するものである。</p> <p>（スピリチュアルケア専門職養成研修）がん相談センターこうちの人材養成講座は、がん患者・家族らに対しスピリチュアルケアを提供する事を目的に、社会におけるスピリチュアルケアの重要性を認識し理解を深め、スピリチュアルケアを実践する為に自身のスピリチュアリティを確認し、がん患者や家族らに対し専門的なケアを行える人材を養成するものである。</p>		

2. 教育担当一覧

1) グループワーク、スーパービジョン、演習等担当者

	氏名 (Name)	就任年	主担当科目 (2科目まで)
1	伊藤 高章 Ito, Takaaki	2010	スピリチュアルケア基本概念 個人スーパービジョン
2	安岡 ゆり子 Yasuoka, Yuriko	2010	スピリチュアルケア論 臨床実習
3	山地 ひろみ Yamaji, Hiromi	2011	スピリチュアリティ論 臨床実習
4	山崎 さよ Yamasaki, Sayo	2012	個人スーパービジョン グループワーク

2) 講義科目等 担当者

	氏名 (Name)	就任年	主担当科目 (2科目まで)
1	伊藤 高章 Ito, Takaaki	2010	スピリチュアリティ論 スピリチュアルケア論
2	安岡 ゆり子 Yasuoka, Yuriko	2010	スピリチュアルケア論 政策とケア
3	福岡 正博 Hukuoka, Masahiro	2013	スピリチュアルケア論 地域医療
4	山崎 さよ Yamasaki, Sayo	2013	スピリチュアリティ論 患者学・家族学
5	山地 ひろみ Yamaji, Hiromi	2011	スピリチュアリティ論 がん細胞

3. 人材養成講座領域 充当表

時間	科目名（他団体からの借入科目の場合は提供団体名／その他、備考）	
＜基礎領域＞		
思想・宗教・伝統・文化 36 時間	日本を中心としつつ、広く人類の思想・宗教・伝統・文化に関する基礎的な知識を持つと同時に、その中におけるケア提供者自身を基盤づけているスピリチュアリティの位置づけと特徴についての深い理解に繋がる教育。特に、ケアの基礎となる、共同体と個人との関係について、その変遷や潜在的な可能性への洞察力を養う教育。	
6	死生学概論	
6	宗教学概論	
6	哲学概論	
6	歴史学	
6	現代思想	
心理・力動・援助 36 時間	個人の成長に関わる個人因子と環境因子への理解、対人関係における社会的心理学的メカニズムの理解、援助関係における「権力」構造の理解のための教育。社会構築、言語と解釈、非指示的療法、傾聴、パターンリズム、自立・自律、投影、転移・逆転移等の基本概念の教育。	
6	臨床心理学概論	
12	患者学・社会学概論	
6	精神医学概論	
12	ケア学・コミュニケーション学概論	
6	医学概論	
＜専門領域 A＞		
スピリチュアリティ論 24 時間	思想・宗教・伝統・文化の歴史性・多様性に基づく、スピリチュアリティの体系的教育	
3	スピリチュアリティとは	
3	がん患者とスピリチュアリティ	
3	スピリチュアリティとは自己理解	
3	疼痛とスピリチュアリティ	
3	宗教とスピリチュアリティ	
3	政策とスピリチュアリティ	
3	スピリチュアリティと自己理解	
3	スピリチュアリティと無意識の意識	
スピリチュアルケア論 24 時間	援助者・対象者間のスピリチュアリティの力動に基づく、ケアの体系的教育	

3	がんチーム医療とスピリチュアルケア	
3	緩和ケアとスピリチュアルペイン	
3	医療倫理とスピリチュアルケア	
3	在宅ケアとスピリチュアルケア	
3	サイコオンコロジーとスピリチュアルケア	
3	がん患者学・家族学	(がん患者会 一喜会)
3	死生観とスピリチュアルケア	
3	地域医療とスピリチュアルケア	(がん患者会 一喜会)
＜専門領域 B＞		
グループワーク		心理およびスピリチュアリティの次元でおこる、自己および他者の内的力動と対人的力動を体験的に理解し、効果的にケアを提供できる能力を養う教育
臨床スーパーヴィジョン	60 時間	スピリチュアルニーズを理解しケアする臨床力を、個人スーパービジョンならびにグループスーパービジョンをとおして育成する教育
12	生育歴グループワーク	
6	自己表現グループワーク	
12	個人スーパービジョン	
12	会話記録グループワーク	
12	グループスーパービジョン	
6	成果報告・グループワーク	
臨床実習	120 時間	スピリチュアルケアが求められる医療・福祉・教育・産業その他の、臨床現場におけるチームケアに参加する。
100	会話研修（臨床）	
20	サロン・患者会・がん患者支援イベント参加	
＜専門領域 C＞		
スピリチュリティの涵養		援助者各自のスピリチュアリティを育成する教育
6	ホスピス・ボランティア研修	(高知緩和ケア研究会)
継続教育		臨床活動を行う援助者を継続的にサポートし専門性を維持するための教育
12	訪問スピリチュアルケア・カンファレンス	

4. 人材養成講座 教育課程表

スピリチュアルケア専門職（認定資格）養成講座

質の高いスピリチュアルケアを実践する為に必要となる知識や技術を提供するための倫理科目講座です。一つの講座には下記に仕分け切れない複雑な内容が含まれており、大学レベル、大学院レベルのものである。

科目名	時間	形態	SC 学会該当領域
スピリチュアリティ論	24	講義	専門 A-1・基礎 1
スピリチュアルケア論	24	講義	専門 A-2・基礎 2
死生学概論	6	講義	専門 A-1・基礎 1
臨床心理学概論	6	講義	専門 B-1・基礎 2
患者学・社会学概論	12	講義	専門 A1A2・基礎 1・2
宗教学概論	6	講義	専門 A-1・基礎 1
精神医学概論	6	講義	専門 A-2・基礎 2
ケア学・コミュニケーション学概論	12	講義	専門 A1, A2・基礎 2
哲学概論	6	講義	専門 A-1・基礎 1
歴史学	6	講義	専門 A-1・基礎 1
医学概論	6	講義	専門 A-1・基礎 2
現代思想	6	講義	専門 A-1・基礎 2
	120		

スピリチュアルケア専門職（認定資格）コース（定員 6～7名）

スピリチュアルケアの実践を目的とした専門職としての養成、育成研修です。米国の CPE（Clinical Pastoral Education／臨床司牧教育）に準拠した臨床スピリチュアルケア研修を通して学び、臨床実習を含みます。ケアの現場で大切な自己の確立を目指し、自身のスピリチュアリティの覚醒と考察を行う。

科目名	時間	形態	SC 学会該当領域
個人生育歴グループワーク	12	グループワーク	専門 B1
自己表出グループワーク	6	グループワーク	専門 B1
会話記録グループワーク	12	グループワーク	専門 B1
成果報告グループワーク	6	グループワーク	専門 B1
個人スーパービジョン	12	面談	専門 B2, C2
グループスーパービジョン	12	グループワーク	専門 B2
臨床実習（病床訪問等）	100	実習	専門 B3
がんサロン等参加実習	20	実習	専門 B3
生育歴・自己表出課題レポート	-		-
会話記録レポート	-		-
修了レポート（専門）	-		-
	180		